



未来へ、世界へ羽ばたけ!能登・西日本の子供たちが ダラスで魅せた、不屈の絆と希望の歌声

初夏の瑞々しい風が吹き抜けるなか、去る6月15日、ダラス日米協会・ダラス日本人会の共催による「被災地支援活動および子供たちの体験報告会・交流会」が開催され、50名を超える方々にご参加いただきました。

今回お迎えしたのは、日本各地の被災地支援を長年ボランティアで続けられている「ちょんまげ隊長」こと角田さん(通称:ツンさん)と、「珠洲市・輪島市・能登町被災中学生ワールドカップ2026観戦プロジェクト」に参加した子供たち8名です。ワールドカップのスタジアム清掃でも知られるツンさんですが、その活動の真髄は「被災地の子供たちに世界中のファンが集まる興奮を肌で感じてもらい、世界からの支援へ感謝を伝えること」にあります。今回の報告会は、まさにその情熱がダラスの地に伝播した、胸を熱くする時間となりました。

困難を乗り越え、前を向く子供たちの圧倒的なエネルギー

2024年1月の能登半島地震、そして2018年の西日本豪雨災害を経験した子供たちが、当時の状況や復興への道のりを自らの言葉で堂々と発表してくれました。

避難により家族がバラバラになる過酷な現実や、変わり果てた故郷の景色に直面しながらも、子供たちの視線はしっかりと未来を見据えていました。

「復興の中で人とのつながりの大切さに気づいた」「これからは支援を受けるだけでなく、歌で人を喜ばせ、幸せに



▲ 沢山の方にお越し頂きました



▲ 能登から来た子供たち

したい」——そう語り、ステージで響かせた純粋で力強い歌声は、会場を大きな感動で包み込みました。どんな困難があっても冷静に、そして恥じることなく一步を踏み出すその姿は、私たち大人にとっても深く心を揺さぶられるものがありました。

短期的なボランティアにとどまらず、数年間にわたり子供たちの未来に伴走し続けるツンさんの活動。それは、2026年ワールドカップという大きな夢の舞台へ向かって、今まさにここアメリカで加速しています。

ダラスから未来へのパスを繋ごう

今回の報告会は、遠く離れたテキサスの地からも、日本の未来を担う子供たちへ確かなエールを送ることができると実感させてくれる素晴らしい機会となりました。子供たちの前向きな挑戦を支え、その世界を広げる一翼を、私たちダラスのコミュニティも担っていくことができます。

この素晴らしい活動に共感し、子供たちの未来と一緒に応援して下さる方は、ぜひ下記のリンクより温かいサポートをお願いいたします。皆さまの一步が、子供たちの夢を世界へと繋ぐ大きな力になります。

▼ ツンさんへのご支援はこちらから

支援サイト: <https://smile4nippon.theshop.jp/>

問合せ: tsun2005tsun2005jp@gmail.com

記: 広報部会 山岸 健